

同 仁

巻頭特集 沖縄県内初 ロボティックアーム手術支援システム「Makoシステム」導入
セクションたより 手術室・中央材料室
LEADER'S VOICE リハビリテーション科 副主任 矢野俊恵
医局便り ミネラルマルシェの勧め（整形外科 辻 利奈）

2020
7月

広報 vol.249

「正確な診断」「適切な治療」「良質な対応」

医療法人 八重瀬会
同 仁 病 院

創立100周年 これからも地域と共に



写真提供：日本ストライカー株式会社

ロボティックアーム手術支援システム
「Mako（メイコー）システム」

沖縄県内初導入

**初症例も無事成功！
ロボットの精密な補助で
より安全かつ正確な手術
が可能になりました。**

当院では、日本で初めて承認された、整形外科におけるロボティックアーム手術支援システム「Makoシステム」を沖縄県で初めて導入しました。

このシステムによる手術は保険診療で行うことができ、人工股関節全置換および人工膝関節全置換の手術を行うことができます。

同システムは日本国内では、当院が10施設目の導入となります。

このロボティックアームは、術中に医師が操作して動かし、傷んだ骨を削るために補助的に使われます。治療計画にない部位に差し掛かると自動的に止まる仕組みになっており、計画外の動きを制御することで、安全かつ正確な手術を可能にします。

2020年6月12日には、「Makoシステム」を使用した初症例、人工股関節全置換手術を無事に成功させています。

手術では、骨盤の骨の位置をセンサーで検知してロボット補助が入りますので、インプラント設置位置、角度が非常に正確である、という点で大きな安心感があり、術後の単純X線においても角度誤差は1度以内、設置位置誤差は1ミリ以内であることが確認できました。

変形性股関節症や変形性膝関節症などで悩む患者さんが、人工関節全置換術後、健康的な生活を送っていただけよう、当院では今後積極的にロボティックアーム手術支援システム「Makoシステム」を用いた手術を行ってまいります。

感謝

新型コロナウイルス感染症対策にかかる寄贈へのお礼と公表について

当法人における新型コロナウイルス感染症対策に対し
右記の方々より心温まる寄附をいただきました。
当院へのご配慮をいただいておりますことに、心から感謝しお礼申し上げます。
ご寄附いただいたマスク等の品々は、有効に活用させていただきます。
これからも全職員が一丸となって、安心・安全な医療を提供できるよう
努めてまいります。

医療法人 八重瀬会
同仁病院 職員一同



ご寄附いただいた企業・団体 様 (五十音順)

いしぐふー合同会社 様

浦添市 (沖縄食料) 様

一般社団法人浦添市医師会 様

NTT docomo 様

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社 様

沖縄三和シャッター株式会社 様

株式会社鹿児島銀行 様

株式会社カヌチャベイリゾート 様

京セラ株式会社 様

砂辺松福テント 様

専門学校沖縄統合医療学院 様

株式会社拓琉金属 様

とくりん薬局 城間店 様

有限会社宮森設計 様

ゆいの子保育園・ゆいの子学童クラブ 様

ご寄附いただいた品々

- ・マスク
- ・フェイスシールド
- ・雨合羽
- ・菓子・飲料水
- ・サンバイザー (フェイスシールド)

アクションにより

手術室・中央材料室



スタッフ紹介

- <前1列目左から> 名幸千尋、照屋郁美、新谷由紀、大城沙采、城間愛梨
- <2列目左から> 大城忍、許田達広、當山真裕、大城博教、上間美佐緒、大城明美
- <3列目左から> 喜久山淳司、兼本奈美

主な業務

- *手術中の医師補助業務
- *器械出し (直接介助) 看護
→手術進行を予測しながら器械を迅速に的確に医師に手渡す
- *外回り (間接介助) 看護
→手術全体のコーディネート・患者さんの安全を守る
- *器材の洗浄・滅菌・管理



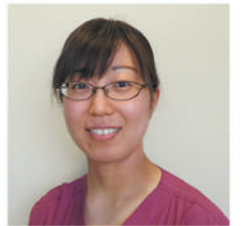
皆さんは「手術室」をどのように感じていますか？こわい、冷たい、ピリピリしている、というイメージが多いでしょうか。

実際は、BGMが流れていたり、先生方と患者さんとの会話があたり、意外と和やかな雰囲気ですよ。

私たち手術室・中材は、看護師11名、助手3名、計14名で勤務しています。手術室は2部屋あり、年間約1000件の手術看護を行っています。患者さんが安全・安楽に手術に臨むことができるように、手術前訪問で顔合わせを行い不安の軽減に努めたり、患者さんの好きな音楽を流したりして、リラックスしてもらえるように環境を整えています。また、自己研鑽を忘れず、定期的な勉強会を医師へ依頼しみんなで切磋琢磨しています。中材(中央材料室)では、手術で使用した器材や病棟・外来での処置に使用した器材など、病院全体の器材の洗浄・滅菌を行っています。病院を陰から支えているのであまりお目にかかれませんが、こういう部署もあることを知ってもらいたいと思います。これからも患者さんが安心して手術を受けられるように、患者さんを中心に多職種と連携しながら手術看護を行っていききたいと思います！

局便り

ミネラルマルシェの勧め



整形外科 辻 利奈

今年4月より同仁病院整形外科に赴任致しましたと申します。東京住まいから沖縄での生活によりやく慣れ、また梅雨明けし青空の広がる日が多くなり何とはなしどこかへ外出したい気持ちになる今日この頃です。

元々雑貨や小物を見て回るのが好きで、種々様々な品が集まる蚤の市やフリーマーケットのようなイベントは自分の好きなものを探し見つけるのが宝探しのようで楽しく、ちょこちょこ足を運んでいました。

その中でも主にミネラルを取り扱ったイベントがお気に入り、最近…と言っても沖縄に来る前のことなので少し前の話になるのですが、「ミネラルマルシェ」というイベントに行きました。なのでこの場をお借りして少しお話ししたいと思います。

どのようなイベントなのかと言いますと、鉱物・隕石・化石などの展示即売会で、他にも「ミネラルショー」・「ミネラルフェア」といった同様のイベントが全国各地で開催されています。このようなミネラルの展示即売会は1988年「東京国際ミネラルフェア」が日本で最初だったそうです。

沖縄でも「ミネラルマルシェ」が2016年より年1回開催されています。

おおよそ週末の3日間にわたって開催されるホールフロアにたくさんのテーブルが並び所狭しと品が置かれ、おひとり様から家族連れまで多くの方が来訪します。展示販売されるものは原石(鉱物標本)が多いのですが、研磨や加工のされたルース、それらを用いたアクセサリーを取り扱うお店もあります。

水晶や蛍石、アンモナイトや三葉虫の化石といった有名なものから、初めて見るような珍しいものまであり、会場を一周するだけでもかなり見ごたえがあると思います。価格は

数百円から数百万円と幅広く、種類も大ききも質も様々です。お店の方から「手に取ってご覧下さい」と声を掛けて下さることも多く貴重なものも実際に触れてまじまじと見ることができるとも面白いところですよ。

私はと言いますとルースやアクセサリーよりも鉱物標本を見て回ることが多く、以前購入したものでは隕石がかっこよくてお気に入り、実家の自室に置いてあります。引越しが多い身なので移動と置き場所に困るのが難点です。

もしも行くとしたら、品数の多い1日目から2日目の早めの時間をおすすめします。(初日が金曜日であることが多く初日に行ったことではないのですが、「152日目で大分なくなりました」とお店の方から聞くことが多々あったので)。もしくはセールを狙える最終日の午後がおすすです。以前目の前で半額セールが始まり驚いたことがあります。

あまり触れる機会の少ない分野ではないかと思うのですが、興味を持って頂けたら幸いです。「ミネラルマルシェ」、おすすめです。



LEADER'S VOICE



「ライフステージに合わせた作業療法めざして」

リハビリテーション科 副主任 矢野俊恵

みなさまこんにちは。作業療法士の矢野俊恵と申します。

今回は、これまでの経験と、同仁病院で積極的に取り組みはじめた小児の作業療法についてお話ししたいと思います。

八重瀬会に入職してしばらくの間、県内の作業療法士仲間「矢野さん」って小児のイメージないですね」と言われ続けました。もちろん、そうなのです。その理由は「目の前に小児がいなかったから」です。

私は新卒で入職した急性期病院にて診療科毎の急性期リハビリテーションを学びつつ、『魂の生』や『痛み』の心理的効果』を言葉で伝えてくれた乳がんの症例に出会い、がんに興味をもちました。その後異動した病院では、回復期・地域包括ケア病棟運営に関与しながら、緩和ケア病棟やがんリハ算定など、がん関連に取り組みました。特に、緩和ケア病棟では、ドクターが先頭に立ち全職種で取り組むQOLアプローチが印象的でした。次に異動した老健では、最期まで口から食べる看取りが充実しており、浮腫や呼吸器の少治療が少ないうえ、医療や呼吸器の少ない、身体的にとても美しい、死に出会うことができました。このような経験からすると、『小児』というイメージがある訳がないのです。

当院にて小児の作業療法を推進する上で、背中を推してくれた方がいました。ダウン症男児のお母さんで、小児の作業療法経験が少ない私が、積極的に取り組みたいとお話しすると快諾され、学会発表も了承して頂きました。実はこの頃、小児の専門施設を訪問する機会があり、物的環境の違いに悩んでいたのです。この症例をきっかけに、専門設備がない当院でも、訓練器具等の工夫などで意欲を引き出すことは可能で、環境調整の重要性を再確認しました。さらに、自宅と近い環境だからこそ家族でもできるアプローチが確認でき信頼を得ることができたのかもかもしれません。

その後は、他職種の方々のご協力もあり、徐々に依頼が増えてきています。この場をかりてお礼申し上げます。

令和2年6月現在、当院作業療法では1歳前の乳児から、100歳をこえる超高齢者までを対象としており、ライフステージのはじめから終わりまで関われる、貴重な職場であると認識しています。

発達障害の研修にて『治らない病気と向き合い、障害を持ちながらも生きていく術を身に着ける』ことが大切と教わりました。

当院での経験からも、作業療法の基本は発達障害もがんも同じであり、疾患に隔たりがないことを痛感しています。作業療法の対象者において『治る』(完治)方は少なく、『治らない』方が大多数を占めます。

『治らない』疾患とどう向き合い、どう生きるか、どう人生を終えるか、そのプロセスを大切にできる『ライフステージに合わせた作業療法』をめざしていきたいと思えます。

最近、作業療法士仲間からの質問は「小児は、がんとは全然違いますよね？」に変わりました。その質問にも自信をもって答えたいと思います。





日本整形外科学会専門医による

膝・スポーツ外来 & 股関節外来

整形外科分野
沖縄県内初!

再生医療外来

PRP療法

APS療法



保存療法から手術まで、患者さんと相談し最適な治療を提供します。



股関節外科

院長代理・整形外科部長

やまうち ゆうき

山内 裕樹

股関節、脊髄・脊椎外科を主な専門とし、股関節疾患は全国でも高レベルな医療を実施しております。整形外科についてお困りのことがあれば是非ご相談下さい。



膝・スポーツ外科

整形外科医長

ひが せいしろう

比嘉 清志郎

膝・スポーツ外科が主な専門です。人工関節手術や靭帯再建術を中心として治療を行っております。



膝・スポーツ外科

整形外科 非常勤医師

金子整形外科内科
院長

はら けんじ

原 憲司

人工膝関節は現在平均年200例ほど執刀しております。膝関節鏡も精通しており、プロスポーツ選手の方々の執刀も多数手掛けております。

整形外科 外来 週間スケジュール (※祝日は休診日となります。)

| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|--------|-----------------|----------------|----|-------------------------------------|---------------|-----------------|
| 午前 | 外科での対応 | 山内 裕樹 比嘉 清志郎 | 比嘉 清志郎 辻 利奈 | 休診 | 山内 裕樹(第2・4・5) 原 憲司(第1・3) 辻 利奈 | 当真 孝 (手術日) | 山内 裕樹 比嘉 清志郎 |
| 午後 | 休診 | 再生医療外来 ※予約制 | 山内 裕樹 | | 照屋 徹 | 外科での対応 | 辻 利奈 |

発行者



医療法人八重瀬会 同仁病院

企画室 広報誌制作チーム

〒901-2133 沖縄県浦添市城間1-37-12
TEL 098-876-2212 FAX 098-876-4209



■編集後記

「夏」がやってきますね。海、お祭り、etc... 例年通りの夏とはいかなそうですが…。しかし私はインドア派なので休みの日は基本ステイホーム。インドア必需品のテレビが壊れ、特別定額給付金の使い道はすぐに決まりました。タイミングが良いのやら悪いのやら…。 [平]

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、取材活動等に制約が生じたため、今号は縮小版として発刊します。

f 八重瀬会 同仁病院
facebookページ

